

**和東町まちづくりアンケート
(中学生向け)
調査結果報告書**

令和2年7月

和 東 町

目次

I. 調査の目的と概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
(1) 調査の対象	1
(2) 調査の方法	1
(3) 調査の期間	1
(4) 配布・回収の状況	1
(5) 本報告書の見方について	1
II. アンケートの結果	
1. 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 居住地区	2
(3) 居住年数	3
(4) 学年	3
2. 和束町の好きなところ・好きではないところ	4
3. 定住意向	5
(1) 大人になっても和束町に住みたいか	5
(2) 住みたい理由	6
(3) 住みたくない理由	8
4. まちづくりについて	10
(1) まちづくりへの関心	10
(2) 参加できる、参加したいと思うまちづくり活動	11
5. 将来の仕事について	13
(1) 将来の仕事	13
(2) 将来の仕事場所、居住場所	14
6. 将来の和束町について	15
(1) 将来、どのようなまちであってほしいか	15
(2) よりよいまちにするためのアイデアや意見・要望	18

I

調査の目的と概要

1. 調査の目的

和東町では、平成 23 年から令和 2 年度までの 10 ヶ年を期間とする「和東町第 4 次総合計画」に基づきまちづくりを進めて参りましたが、同計画期間の終了に伴って、「和東町第 5 次総合計画【基本構想・前期基本計画】」（令和 3 年度スタート）を策定いたします。

策定にあたって、町内の中学生の考えを調査し、今後のまちづくりに活かすため、このアンケートを実施しました。

2. 調査の概要

(1) 調査の対象

和東中学校全生徒

(2) 調査の方法

中学校にて配布・回収

(3) 調査の期間

令和 2 年 6 月中（中学校で生徒に配布・回収）

(4) 配布・回収の状況

調査票の配布・回収の状況は下表の通りです（中段は前回、下段は前々回調査の配布・回収状況）。

調査年月	配布数 A	回収数	有効回答数 B	回収率 B/A
令和 2 年 6 月	60	57	57	95.0%
平成 27 年 2 月	78	58	58	74.4%
平成 22 年 3 月	93	86	86	92.5%

(5) 本報告書の見方について

- ① 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。したがって合計が 100.0%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数（回収数）は、“全体（n=〇〇）”として掲載し、各比率は回収数を 100.0%として算出しました。
- ③ 1 人の回答者が 2 つ以上の回答を出してもよい設問では、各回答の合計比率が 100.0%を超える場合があります。
- ④ 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- ⑤ 「 」は一つの選択肢、“ ”は複数の選択肢を合わせた表現、< >は調査項目を表します。

Ⅱ

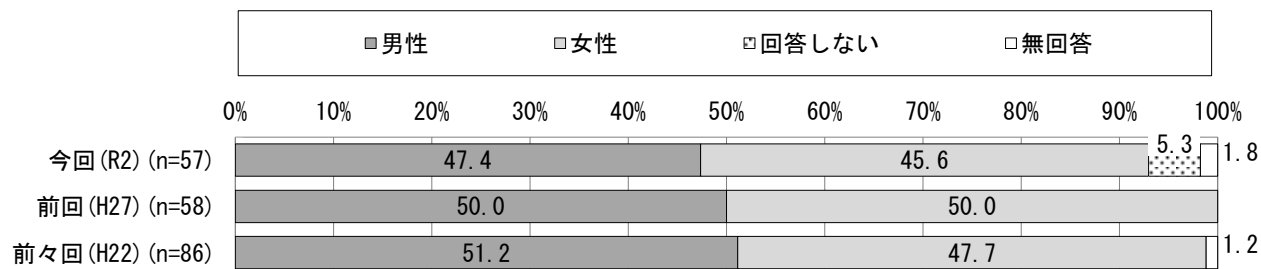
アンケートの結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

問1 (1) 性別

「男性」が47.4%、「女性」が45.6%と、ほぼ同程度の割合となっています。



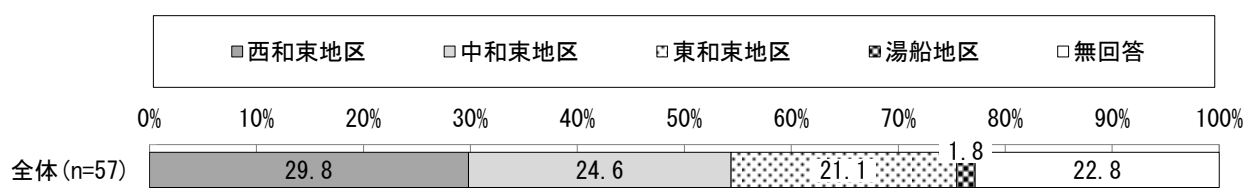
※今回調査では、新たに「回答しない」という選択肢が設けられている

(2) 居住地区

問1 (2) 住んでいる地区

「西和東地区」が29.8%、「中和東地区」が24.6%、「東和東地区」が21.1%、「湯船地区」が1.8%となっています。

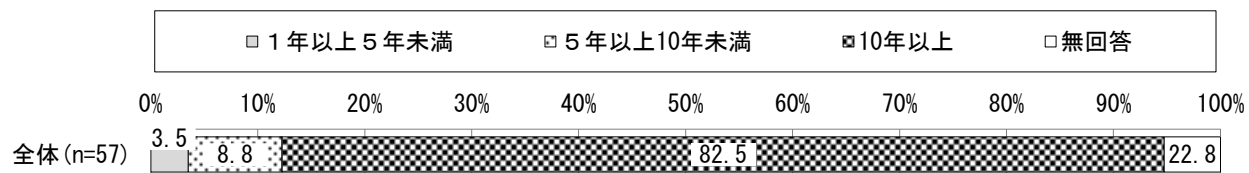
「湯船地区」は、回答数が1（1.8%）であるため、以降の設問でクロス集計からは省略していません。



(3) 居住年数

問1 (3) 和東町に住んでいる年数

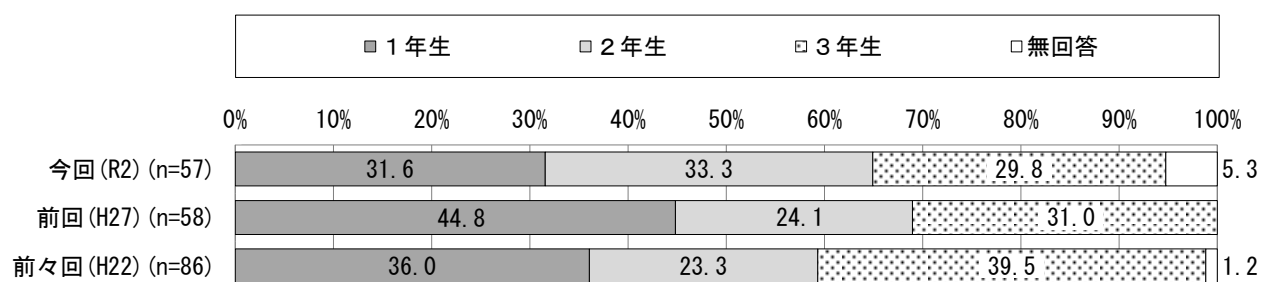
8割超が「10年以上」となっています。
 なお、「1年以上5年未満」は3.5%、「5年以上10年未満」は8.8%であり、これらを合わせた「10年未満」は12.3%となっています。



(4) 学年

問1 (4) 学年

「1年生」が31.6%、「2年生」が33.3%、「3年生」が29.8%と、各学年が同程度の割合となっています。



2. 和東町の好きなところ・好きではないところ

問2 和東町のどんなところが好きですか、またどんなところが好きではないですか。
具体的に自由に書いてください。

(ア) 好きなところ

「自然が豊か」が32件と最も多くなっています。

また、「お茶・お茶がおいしい」(13件)や「茶畑・茶畑がきれい」(11件)など、地域資源である『お茶』を好きな点としてあげている方も多くみられます。

順位	好きなところ	件数
1位	自然が豊か	32件
2位	お茶・お茶がおいしい	13件
3位	空気がきれい・おいしい	12件
	静か	12件
5位	茶畑・茶畑がきれい	11件
6位	交流しやすい	5件

(イ) 好きではないところ

「買い物が不便(店が少ない)」が25件と最も多くなっています。また、「交通が不便(駅がない、バスが少ない等)」との回答も多くみられ、『日常の生活で不便がある』ことが好きでない点に結びついていると読み取れます。

順位	好きではないところ	件数
1位	買い物が不便(店が少ない)	25件
2位	交通が不便(駅がない、バスが少ない等)	14件
3位	虫が多い、動物が多い	5件

3. 定住意向

(1) 大人になっても和東町に住みたいか

問3 あなたは、大人になってからも和東町に住みたいと思いますか。

《1つだけ○をつけてください》

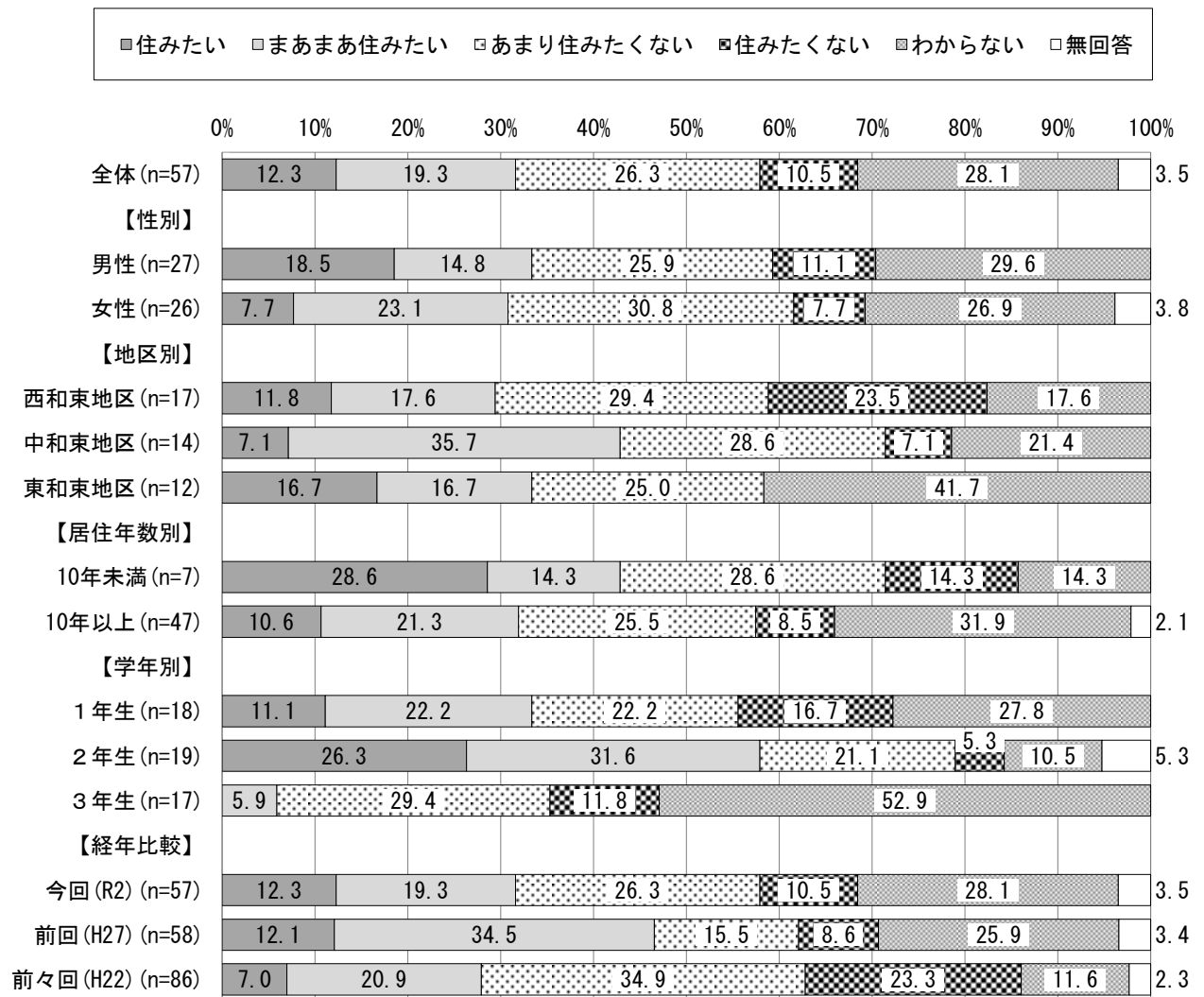
全体では、「住みたい」(12.3%)と「まあまあ住みたい」(19.3%)を合わせた“定住意向あり”が31.6%、「住みたくない」(10.5%)と「あまり住みたくない」(26.3%)を合わせた“定住意向なし”が36.8%となっており、“定住意向なし”が“定住意向あり”を上回っています。

男女別では、男女で大きな違いはみられません。

地区別では“定住意向あり”は、西和東地区が29.4%と他の地区と比較して低くなっています。

学年別では“定住意向あり”は、2年生が57.9%と高くなっています。

経年比較では“定住意向あり”は、前回調査の46.6%と比較して下がっています。



(2) 住みたい理由

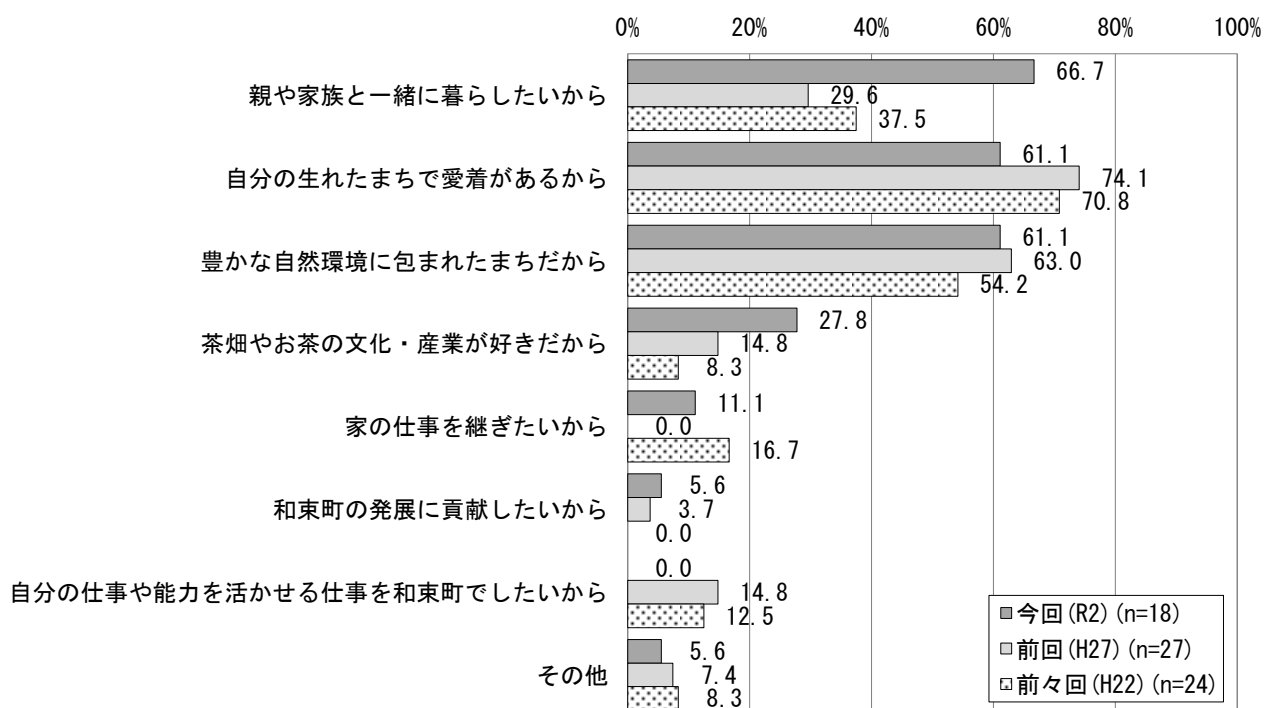
※問3で、「1. 住みたい」、「2. まあまあ住みたい」を選んだ方にお聞きします。

問4 住みたい理由は何ですか。《1～3つまで○をつけてください》

(ア) 全体・経年比較

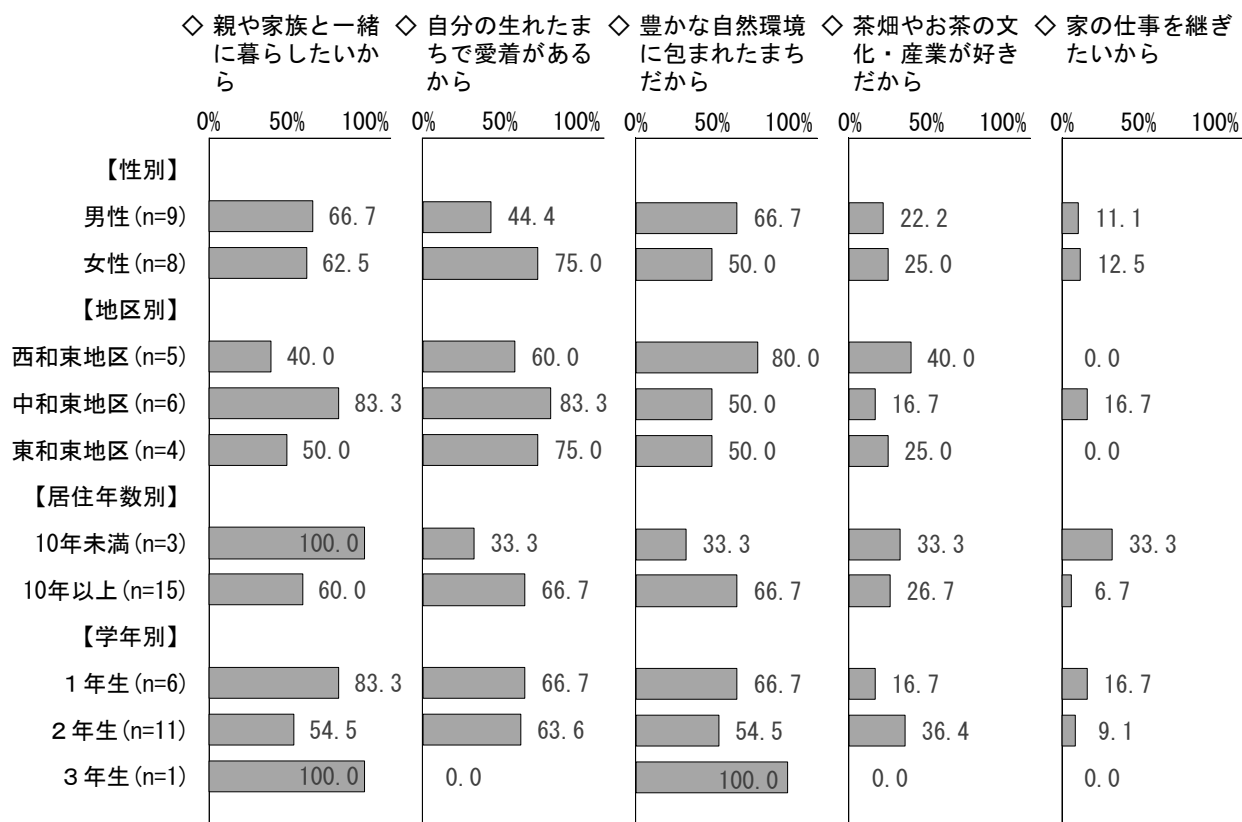
全体では、「親や家族と一緒に暮らしたいから」が66.7%と最も高く、「自分の生まれたまちで愛着があるから」と「豊かな自然環境に包まれたまちだから」がそれぞれ61.1%と続いています。

経年比較では、今回調査では、前回、前々回調査と比較して「親や家族と一緒に暮らしたいから」が大きく増加しています。また、「茶畑やお茶の文化・産業が好きだから」で前々回、前回、今回調査と増加傾向がみられます。



(イ) 属性別（上位5項目） ※各属性の回答数が少ないため、参考資料として考える

性別では、「自分の生まれたまちで愛着があるから」は女性（75.0%）が男性（44.4%）を30.6ポイント上回っています。一方、「豊かな自然環境に包まれたまちだから」は男性（66.7%）が女性（50.0%）を16.7ポイント上回っています。



(3) 住みたくない理由

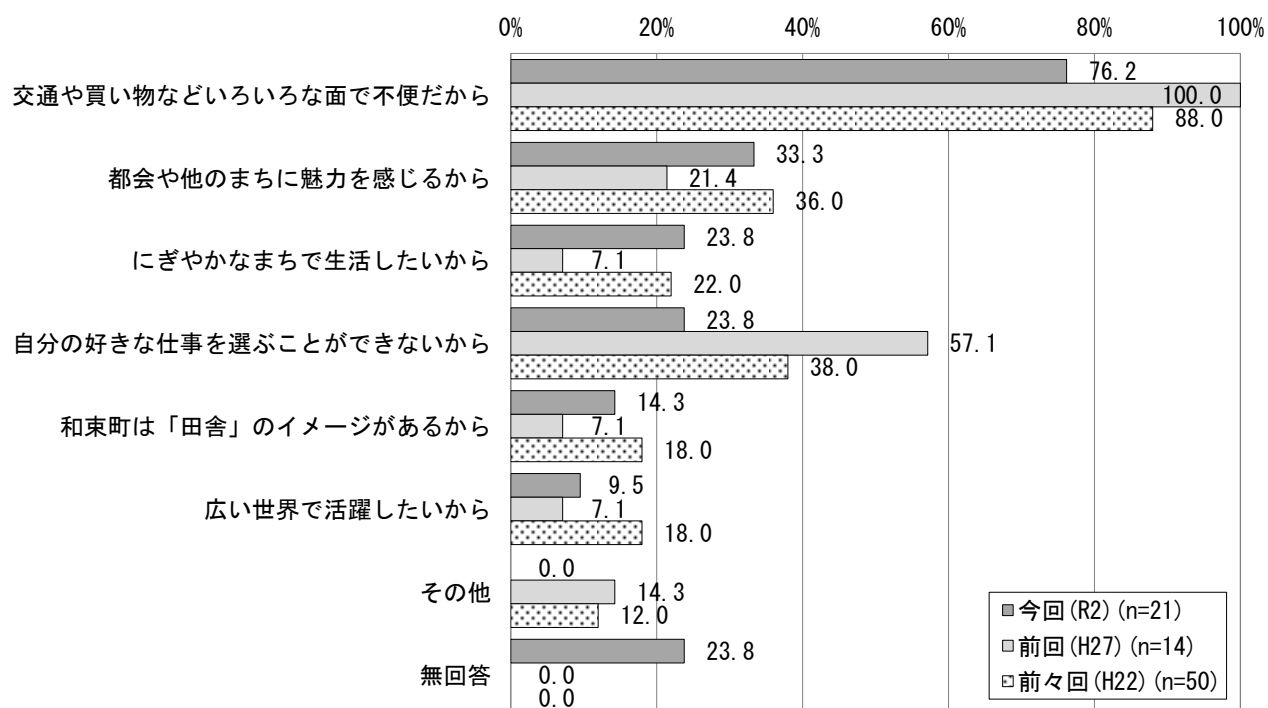
※問3で、「3. あまり住みたくない」「4. 住みたくない」を選んだ方にお聞きします。

問5 住みたくない理由は何ですか。《1～3つまで○をつけてください》

(ア) 全体・経年比較

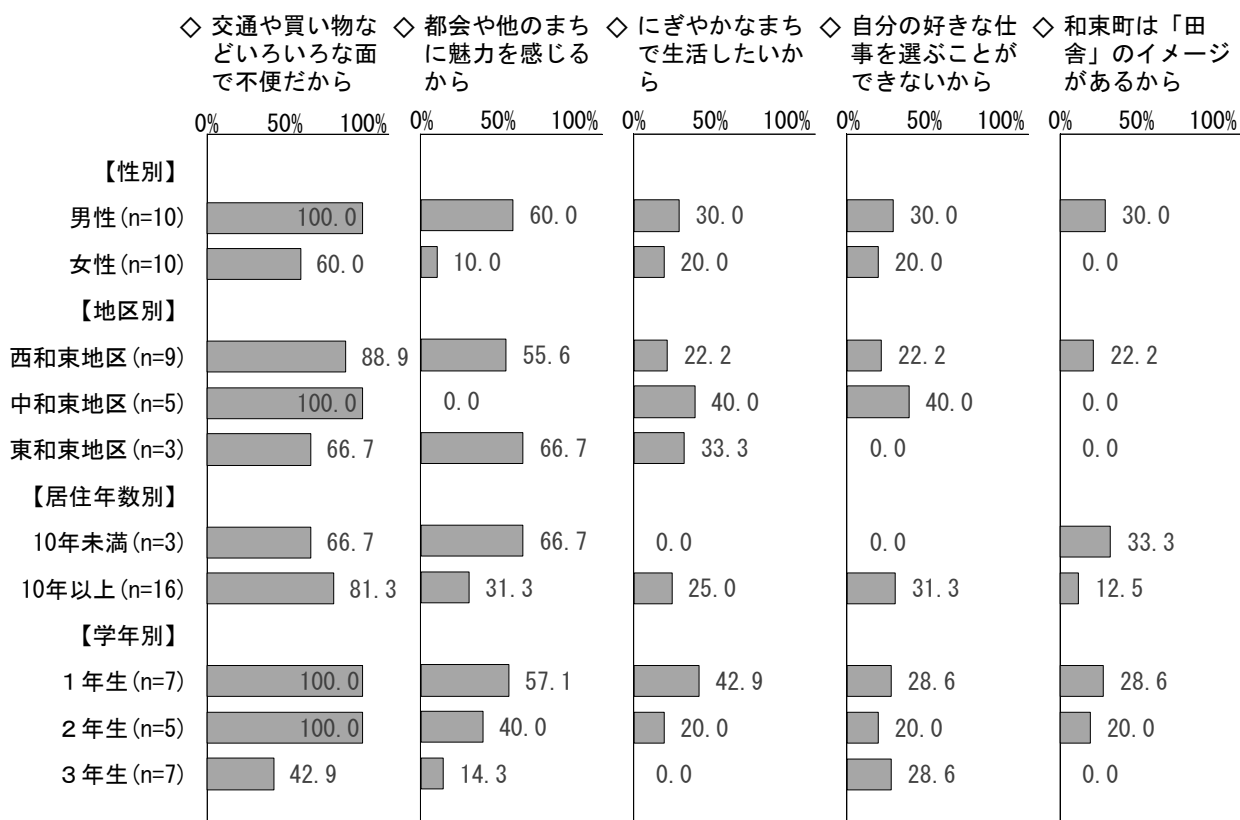
全体では、「交通や買い物などいろいろな面で不便だから」が76.2%と最も高く、「都会や他のまちに魅力を感じるから」が33.3%、「にぎやかなまちで生活したいから」や「自分の好きな仕事を選ぶことができないから」がそれぞれ23.8%と続いています。

経年比較では、前回調査と比較して「交通や買い物などいろいろな面で不便だから」が23.8ポイント、「自分の好きな仕事を選ぶことができないから」が33.3ポイント減少しています。



(イ) 属性別（上位5項目） ※各属性の回答数が少ないため、参考資料として考える

性別では、上位5項目のすべての項目で男性が女性を上回っています。特に、「都会や他のまちに魅力を感じるから」では50.0ポイント、「交通や買い物などいろいろな面で不便だから」では40.0ポイントと差が大きくなっています。



4. まちづくりについて

(1) まちづくりへの関心

問6 あなたは、自分自身がまちづくりに参加してあなたの意見を出したり、活動したりすることに、どの程度関心がありますか。《1つだけ〇をつけてください》

全体では、「非常に関心がある」(3.5%)と「やや関心がある」(45.6%)を合わせた“関心がある”が49.1%、「まったく関心がない」(7.0%)と「あまり関心がない」(40.4%)を合わせた“関心がない”が47.4%となっており、“関心がある”が“関心がない”を上回っています。

男女別では、男女で大きな違いはみられません。

地区別では“関心がある”は、東和東地区が58.3%と他の地区と比較して高くなっています。

学年別では“関心がある”は、2年生(63.1%)や3年生(58.8%)で約6割となっています。

定住意向別では“関心がある”は、定住意向がある方が66.7%と高くなっています。

経年比較では“関心がある”は、前々回(26.7%)、前回(46.5%)、今回調査(49.1%)と増加傾向がみられます。



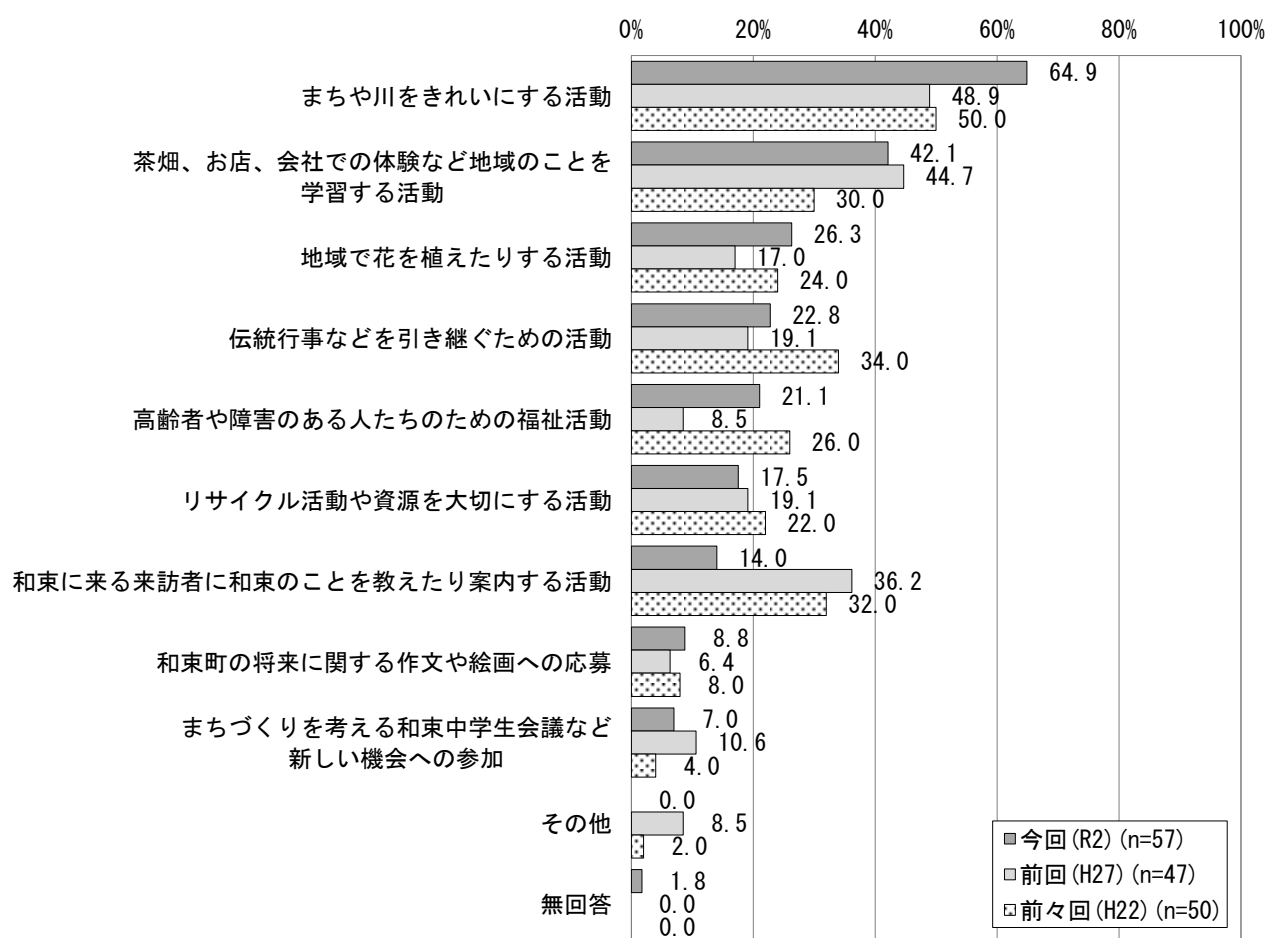
(2) 参加できる、参加したいと思うまちづくり活動

問7 住みよいまちづくりのためには、皆さんの参加も大切です。どんなことであれば、あなたもまちづくりに参加できる・したいと思いますか。《1～3つまで〇をつけてください》

(ア) 全体・経年比較

全体では、「まちや川をきれいにする活動」が64.9%と最も高く、「茶畑、お店、会社での体験など地域のことを学習する活動」が42.1%、「地域で花を植えたりする活動」が26.3%、「伝統行事などを引き継ぐための活動」が22.8%と続いています。

経年比較では、前回調査と比較して「まちや川をきれいにする活動」が16.0ポイント上回っています。また、「リサイクル活動や資源を大切にしている活動」において前々回（22.0%）、前回（19.1%）、今回調査（17.5%）と減少傾向がみられます。



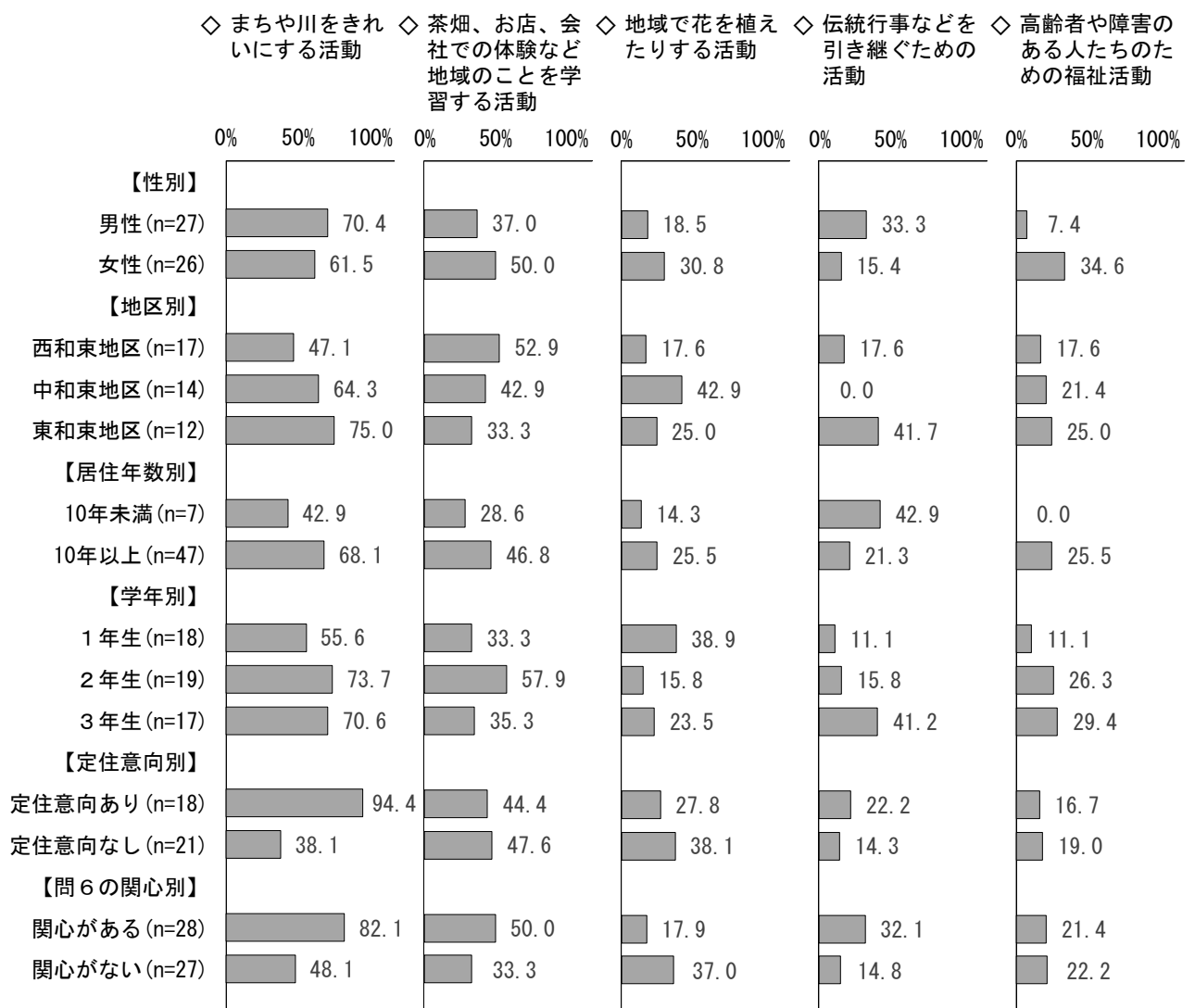
(イ) 属性別（上位5項目）

性別では、「伝統行事などを引き継ぐための活動」は、男性（33.3%）が女性（15.4%）を17.9ポイント上回っています。一方、「高齢者や障害のある人たちのための福祉活動」は、女性（34.6%）が男性（7.4%）を27.2ポイント上回っています。

居住年数別では、10年未満の方で「伝統行事などを引き継ぐための活動」が42.9%と高くなっています。

定住意向別では、定住意向がある方で「まちや川をきれいにする活動」が94.4%と非常に高くなっています。

まちづくりへの関心別（問6とのクロス集計）では、まちづくりに関心がある方は、関心がない方に比べて、「まちや川をきれいにする活動」、「茶畑、お店、会社での体験など地域のことを学習する活動」、「伝統行事などを引き継ぐための活動」などの回答割合が高くなっています。つまり、これらのことを実施すれば、より和東町がよくなると考えているということがわかります。



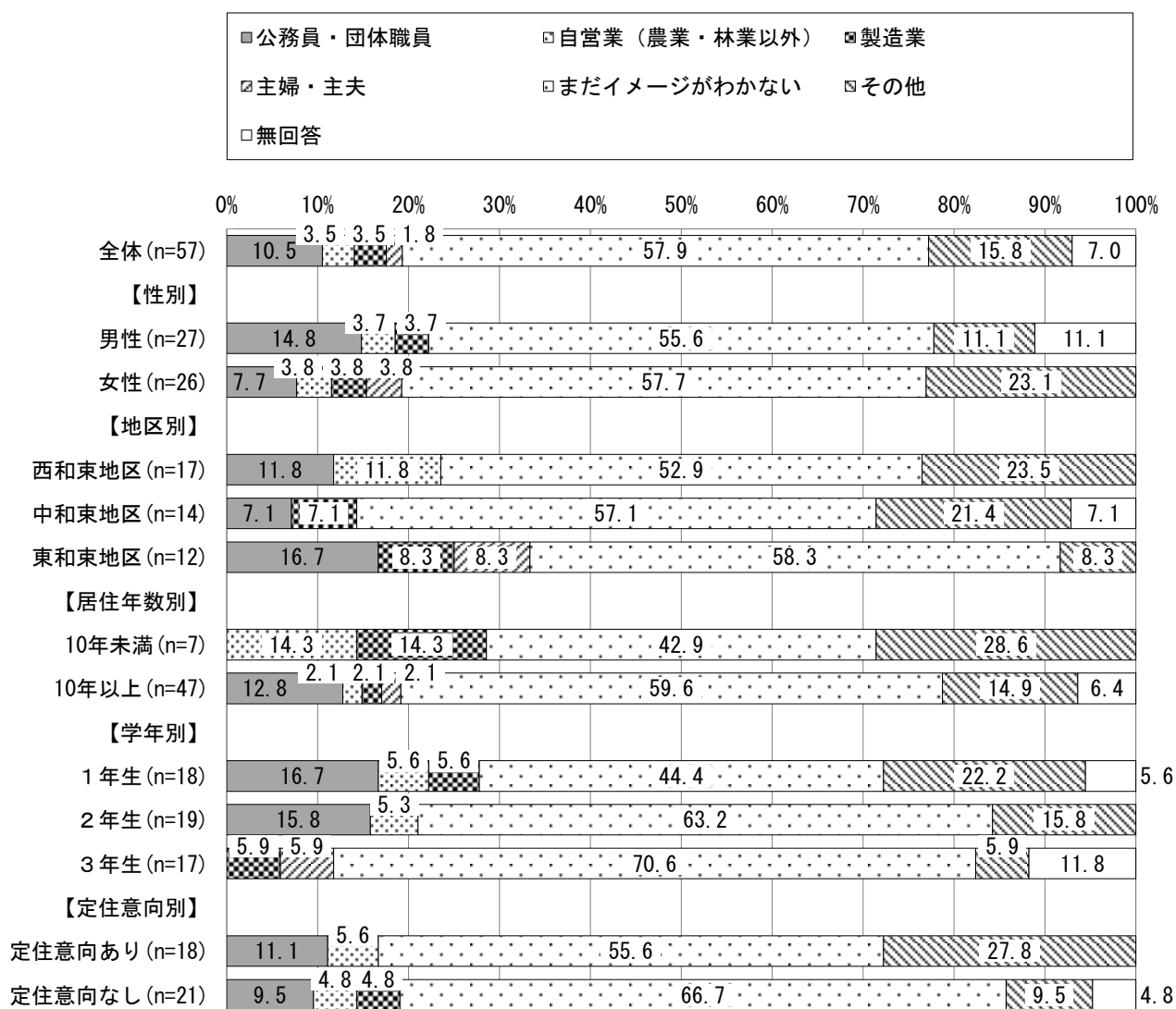
5. 将来の仕事について

(1) 将来の仕事

問8 あなたは将来、どのような仕事をしたいと考えていますか。《1つだけ○をつけてください》

全体では、約6割が「まだイメージがわからない」(57.9%)となっています。

具体的な職業では、「公務員・団体職員」が10.5%と最も高く、「自営業(農業・林業以外)」と「製造業」がそれぞれ3.5%と続いています。



※「農業・林業」や「小売業・サービス業」との回答はみられない

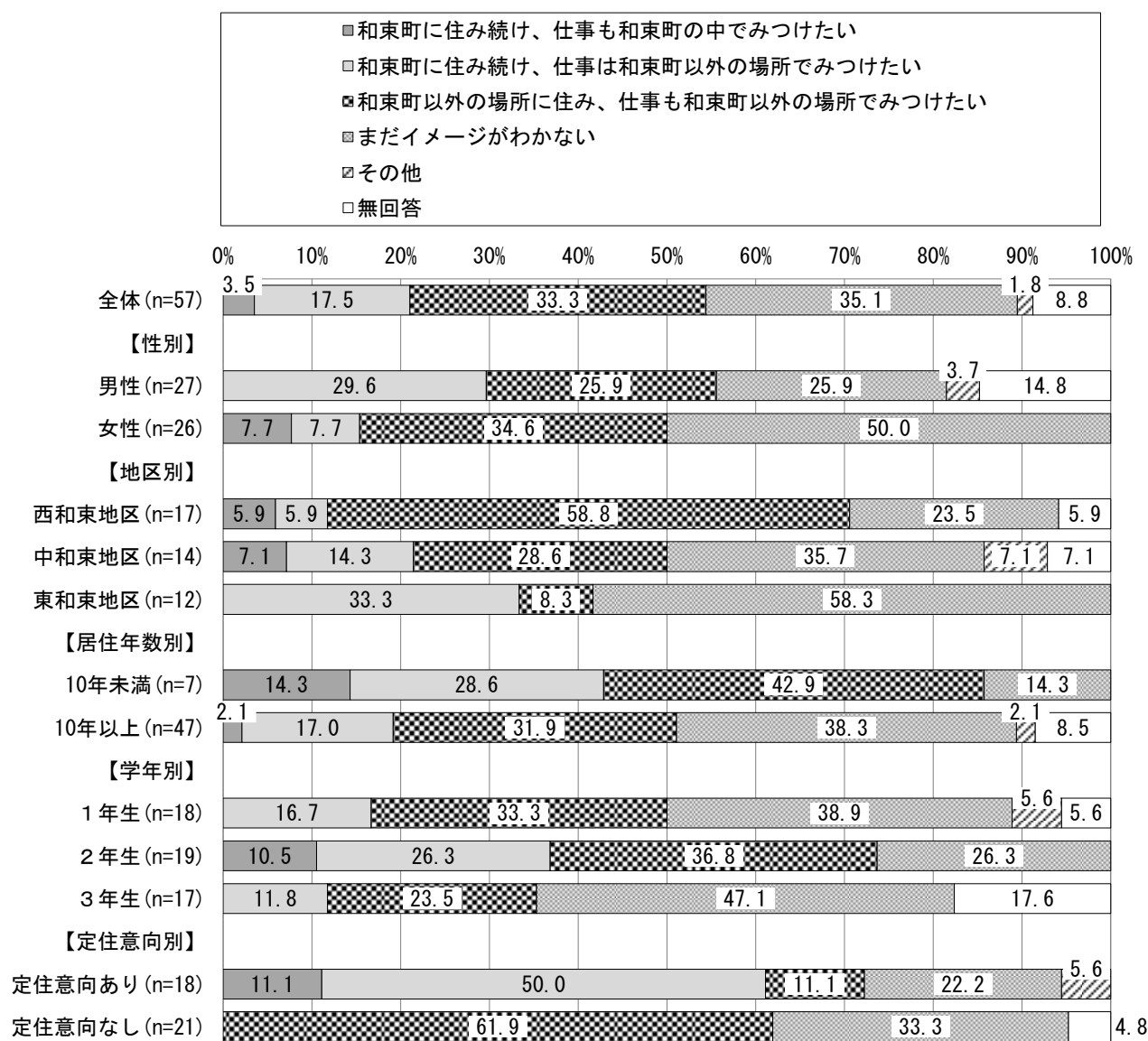
(2) 将来の仕事場所、居住場所

問9 あなたは、将来働きたいと思ったときの状況を、どのように考えますか。
《1つだけ○をつけてください》

全体では、「まだイメージがわからない」が35.1%と最も高く、「和東町以外の場所に住み、仕事も和東町以外の場所でみつきたい」が33.3%と続いています。

和東町の中で仕事をみつきたい方は3.5%（＝「和東町に住み続け、仕事も和東町の中でみつきたい」）に留まっています。

定住意向別にみると、定住意向がある方においても半数（50.0%）が和東町以外の場所で働きたい（＝「和東町に住み続け、仕事は和東町以外の場所でみつきたい」）と考えていることがわかります。



※「和東町以外の場所に住むが、仕事は和東町のなかでみつきたい」との回答はみられない

6. 将来の和東町について

(1) 将来、どのようなまちであってほしいか

問 10 あなたは和東町が将来、どのようなまちであってほしいと考えますか。

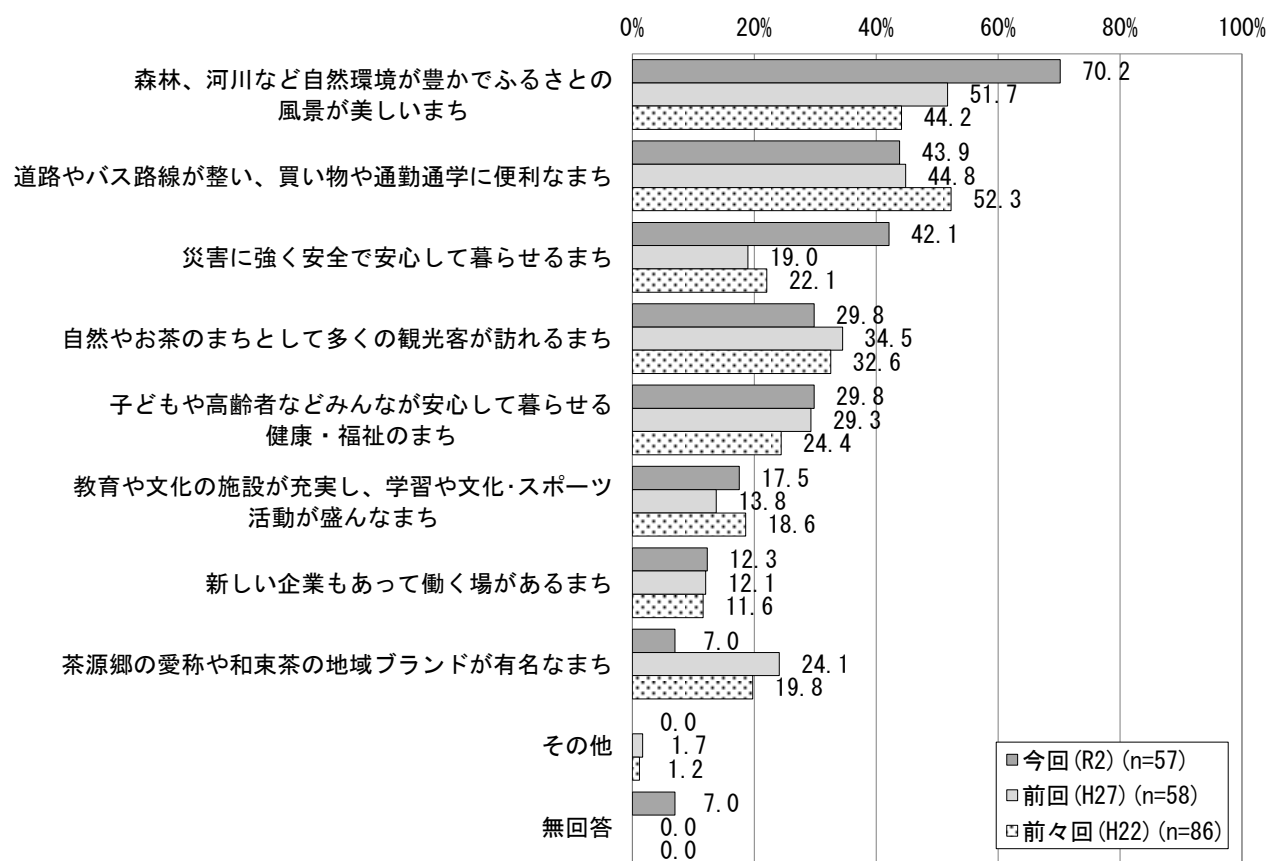
《1～3 つまで○をつけてください》

(ア) 全体・経年比較

全体では、「森林、河川など自然環境が豊かでふるさとの風景が美しいまち」が70.2%と最も高く、「道路やバス路線が整い、買い物や通勤通学に便利なまち」が43.9%、「災害に強く安全で安心して暮らせるまち」が42.1%と続いています。

経年比較では、「森林、河川など自然環境が豊かでふるさとの風景が美しいまち」や「子どもや高齢者などみんなが安心して暮らせる健康・福祉のまち」、「新しい企業もあって働く場があるまち」が前回、前回、今回調査と増加傾向になっています。一方、「道路やバス路線が整い、買い物や通勤通学に便利なまち」が減少傾向になっています。

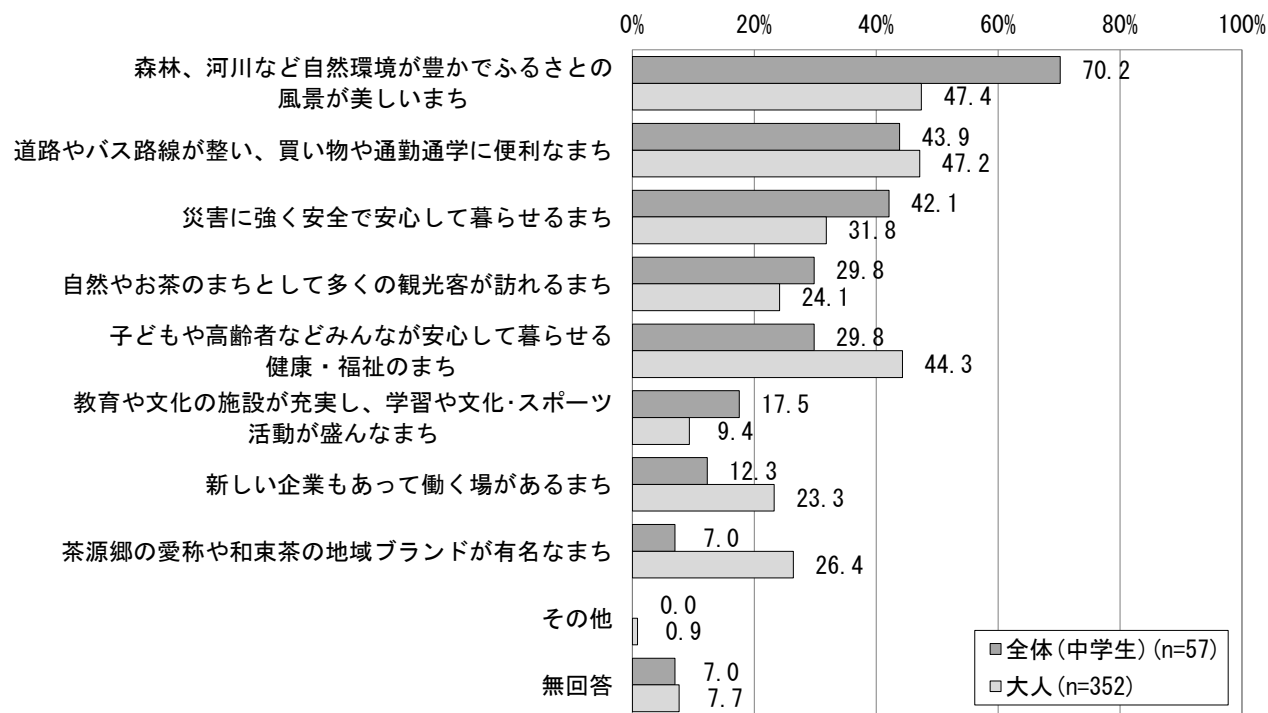
また、近年、全国各地で大規模災害等が増加していることを受けてか、「災害に強く安全で安心して暮らせるまち」が42.1%と、前回調査の19.0%から23.1ポイント増加しています。



(イ) 大人との比較

本設問の結果を、本アンケートと同時期に実施した、「和束町に居住する18歳以上の住民を対象としたアンケート調査（以下、大人）」と比較します。

大人と比較すると、「森林、河川など自然環境が豊かでふるさとの風景が美しいまち」が22.8ポイント、「災害に強く安全で安心して暮らせるまち」が10.3ポイント高くなっています。一方、「子どもや高齢者などみんなが安心して暮らせる健康・福祉のまち」が14.5ポイント、「新しい企業もあって働く場があるまち」が11.0ポイント低くなっています。



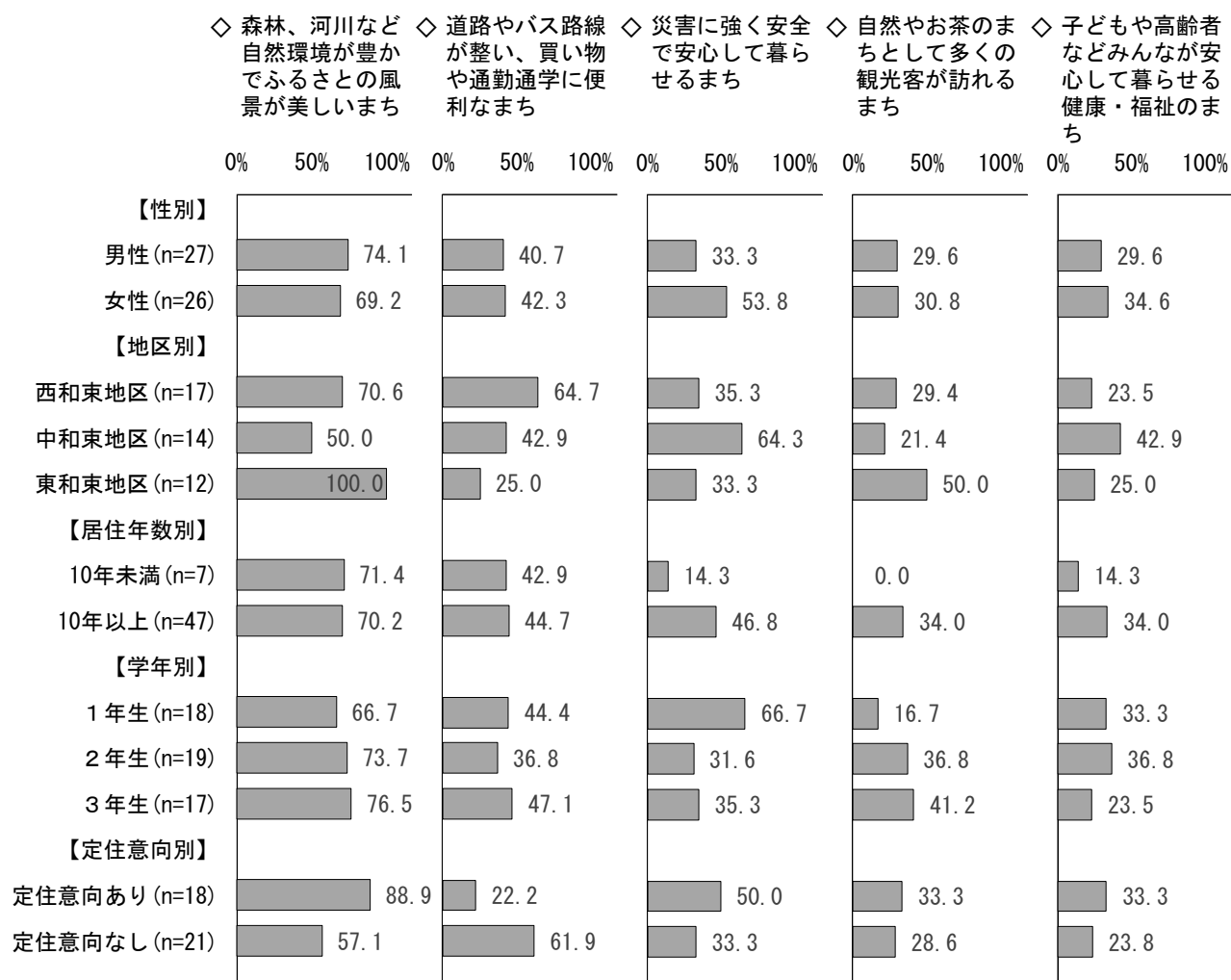
(ウ) 属性別（上位5項目）

性別では、「災害に強く安全で安心して暮らせるまち」で、女性（53.8%）が男性（33.3%）を20.5ポイント上回っています。

地区別では、西和東地区や東和東地区では「森林、河川など自然環境が豊かでふるさとの風景が美しいまち」が最も高く、中和東地区では「災害に強く安全で安心して暮らせるまち」が最も高くなっています。

学年別では、学年が高くなるほど「自然やお茶のまちとして多くの観光客が訪れるまち」の回答割合が増加する傾向があります。

定住意向別では、定住意向がある方で、「森林、河川など自然環境が豊かでふるさとの風景が美しいまち」（88.9%）や「災害に強く安全で安心して暮らせるまち」（50.0%）との回答割合が高くなっています。また、定住意向がない方では「道路やバス路線が整い、買い物や通勤通学に便利なまち」が61.9%と高くなっています。



(2) よりよいまちにするためのアイデアや意見・要望

問 11 和東町をよりよいまちにするためのアイデアや意見・要望があれば、自由に書いてください。

アイデアや意見・要望の内容は以下のとおりです。

多くがよりよいまちにするためのアイデアや意見となっていますが、その他にもく交通・安全性向上において「交通整備をして危険な所を減らす」、「歩道がほしい」、「電灯を増やしてほしい」などの要望もみられます。

<観光・知名度向上>

- ・観光する場所が少ないので、お茶で有名になっていけばいいと思う
- ・お茶を振る舞う店が増えたらいいと思います
- ・より茶畑の魅力を伝えたい
- ・和東のお茶をもっと広めたらいいと思う
- ・遊ぶ場所を作ってほしい。お菓子などを作って有名にする

<買物等の利便性向上>

- ・1人暮らしや2人で暮らしている高齢者の方が買い物をしやすいように、和東にスーパーを建てる
- ・お店や建物をもう少し増やしてほしい
- ・イオンを作る
- ・どこに行くのも、すごく便利にする

<交通・安全性向上>

- ・交通整備をして、危険な所を減らす
- ・交通←駅とかを便利にする。スーパーとかを近くに作る
- ・道路に歩道がほしい
- ・自動車以外で和東町を出れるようにしてほしいです。電灯を増やしてほしいです

<自然保護>

- ・自然を守りつつ、便利にしてほしい
- ・このままで緑がいっぱいの町
- ・川や道をきれいにしたほうがよいと思います
- ・ゴミのポイ捨てなどをなくす

<その他>

- ・もっと住みやすい地域にしたいです

和束町まちづくりアンケート調査結果報告書

発行年月 令和2年（2020年）7月

発行 和束町

企画／編集 総務課

住所 〒619-1295

京都府相楽郡和束町釜塚生水 14-2

TEL：0744-78-3001（代表）

<http://www.town.wazuka.kyoto.jp/>